

平成25年度 海上保安庁関係補正予算の概要

1. 領海警備のための戦略的海上保安体制の構築	192億円
(1) 巡視船の整備	153億円
① 1,000トン型巡視船(新規)	6隻 104億円
② ヘリコプター搭載型巡視船<延命・機能向上>(新規)	1隻 15億円
③ 1,000トン型巡視船(24'予備措置船の建造前倒し)	2隻 34億円
(2) 尖閣領海警備専従体制の確立に向けた物的基盤の整備	29億円
① 石垣港における船艇係留施設等の整備	22億円
② 海上保安学校施設整備	8億円
(3) 運用司令機能の強化のための基盤整備等	9億円
(4) 尖閣領海警備専従体制の確立に向けた人的基盤の整備	増員306人
2. 航路標識の防災対策等(公共)	8億円
3. 燃料価格高騰による船舶・航空機燃料費の追加	30億円

海上保安庁補正予算合計 230億円

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計と一致しないものがある。

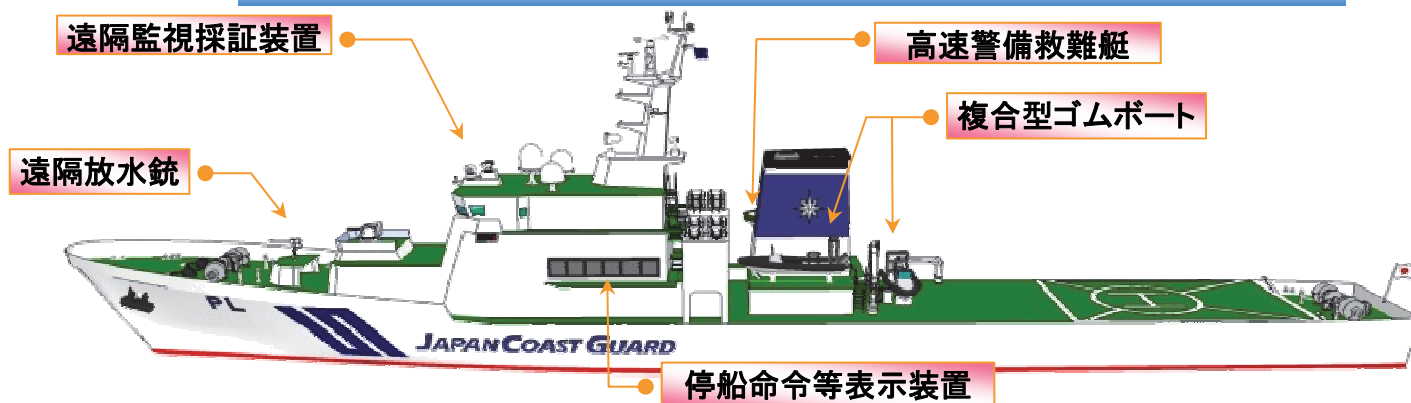
<目的>

尖閣諸島周辺海域の領海警備に万全を期すため、

- ・常時5隻程度で徘徊する中国公船に適切に対応するため、大型巡視船14隻相当による専従体制の確立を着実に推進する。
- ・中国大型公船の増強計画・中国海上法執行機関の統合に伴う、更なる情勢の変化にも対応し得る体制を確保する。

<内容>

1,000トン型巡視船の新規建造等



船艇係留施設等の整備



石垣港への
船艇係留施設等の整備

ヘリコプター搭載型巡視船の延命・機能向上



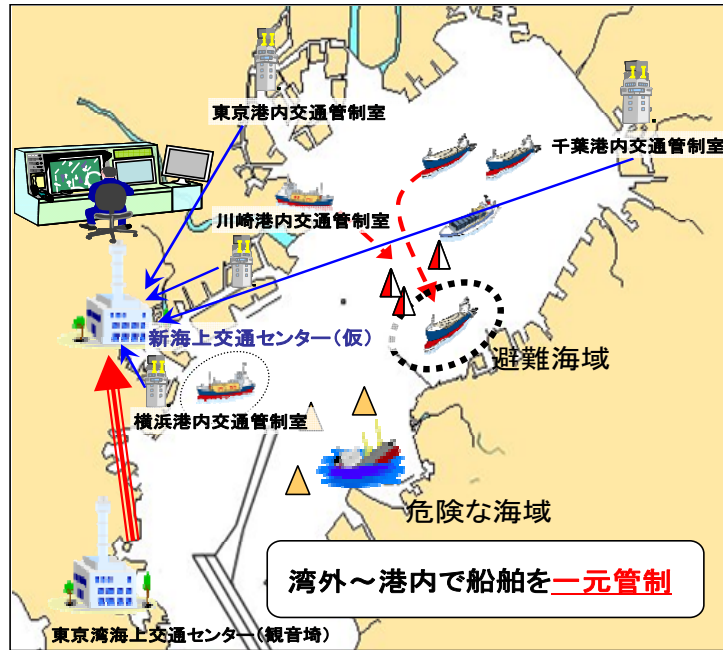
海上保安学校施設の整備

学生寮・厚生棟



尖閣専従体制強化のための
要員養成に必要な
学生寮・厚生棟の整備

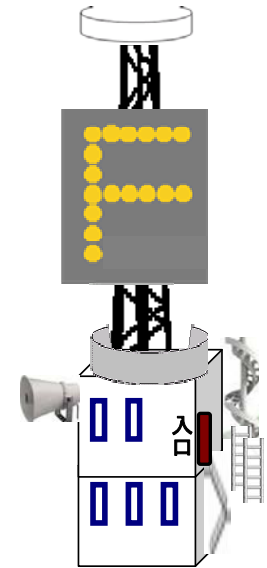
一元的な海上交通管制の構築



信号所の整備

東京十三号地船舶通航信号所の移転にともない、同信号所の建設及び信号装置等の整備を行い、防災機能の強化を図る。

2億円



航路標識の防災対策

4億円

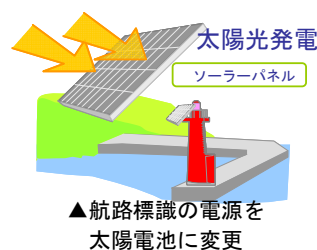
耐震補強



耐波浪補強



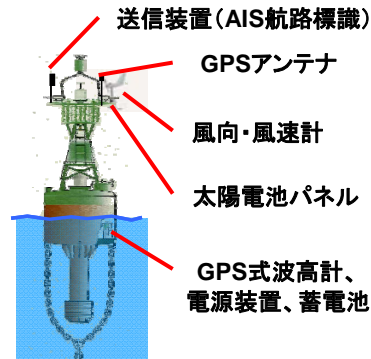
自立型電源化



海上交通センターの機能向上等

1.5億円

灯浮標をプラットフォームにした気象情報提供システムの整備



海上交通センターのレーダー機能強化

